

# 国宝慈照寺銀閣の模型製作

Model making of the national treasure Jishoji Ginkaku

建築科3年 長田寿成 窪田翔馬 近藤伯 杉山凱豊 吉原凜太郎

## ●研究概要・目的

- ・日本建築の伝統的な様式の「和室」。この住宅様式は、書院造りとも呼ばれ、そうした部屋の中から、茶の湯や生け花など、様々な日本の伝統文化が生まれてきた。銀閣寺は、こうした書院造りの原初の姿を、そのままに、今に伝えている寺院でもある。そんな銀閣寺に興味を持ち「銀閣寺の断面模型」というテーマで取り組むことにした。
- ・過去の先輩方の作品では外観模型や骨組み模型、都市をつくるといったものが多かったので、過去の先輩方とは違った形の作品を製作したいと思い「断面模型」に挑戦しようと思った。
- ・今回の取り組みを通し、伝統的な建物に興味を持ち、建築の歴史や造りを学ぶことで、将来に役立てたい。また、作品を見た人が驚くような完成度の高い作品に仕上げる。

## 1. はじめに

この製作を通して、「技術力の向上」、「計画力を高める」、「協調性を高める」、「自主性を高める」というのを目標にたて、常にこの4つを意識して全員がより良い作品になるように主体性をもって取り組んだ。

## 2. 研究内容

- ①題材:1/15スケールの慈照寺銀閣断面模型とし、角材やバルサ板を基調とした模型である。
- ②作り方:柱は10mm角材、壁はバルサ板とスチレンボードを主とし、外観・内観共に細部まで作り込む。床下や天井裏なども作る。作業課題として、断面処理をどれだけ綺麗に出来るのが鍵だと感じた。

## 3. 取組状況

<作業工程>

### ○題材決め

「S=1/15スケール銀閣寺断面模型」に決定



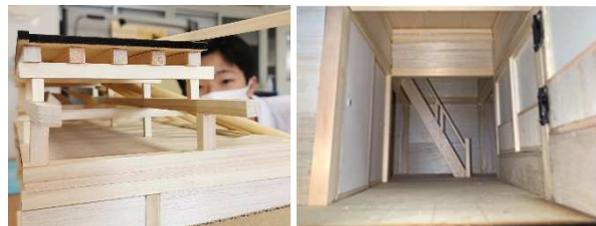
### ○資料探し・図面入手・CAD図面作成

・材料拾い出し・発注



### ○模型の製作

- 1)土台・基礎
- 2)1階床下・床・壁
- 3)1階開口部・階段・天井
- 4)1階小屋組・屋根
- 5)2階の床・壁
- 6)2階開口部・天井
- 7)2階小屋組・屋根



## 4. 成果

- ①山梨県立図書館から「慈照寺補強工事報告書」を入手し、補強工事の時の図面を参考にし、CAD図面を作成を行った。参考図面が寸法の表記が少なかったため、各部材の基本的なサイズを用いながら臨機応変に対応した。
- ②CAD図面作成時から材料拾い出しをする時のことを考えながらして作図していたため、材料出しは迷うことなくできた。しかし斜めの材も多かったため長さを出すのに多少時間を要し、材料の発注が遅れてしまった。
- ③製作の全体として、テーマは断面模型のため内部・外部ともに丁寧に仕上げることにし、断面をきれいに見せることを絶対条件として製作を進め、精度の高い模型製作をすることができた。



## 5. 考察

- ・情報が少なく、断面模型というずれが許されない難しいテーマでの取り組みだったけれど、一人一人が目標と目的を持ち、素晴らしい作品に仕上げることができた。
- ・模型製作は作業量がとても多く、授業時間外での作業も多いけれど、やりがいを感じ、充実感や達成感を得ることができ、とても良い経験になった。

## 6. おわりに

- ・仲間と一緒に考えたり取り組む中で、建築をしていく上では最も重要である、仲間と協力して作り上げる大切さを学ぶことができた。また、一人一人が考えを持ち共有することで、より良い作品になるということを再認識することができた。